

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	スポーツ課長	江口達也
市民-30	実施事業	保健体育運営事業	■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課 スポーツ課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	市民スポーツ・レクリエーションの推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	活動団体への指導・援助や、関係団体との協調を図るため。
効果	スポーツ・レクリエーション活動の支援を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体への指導・援助の充実や、団体との連携を強化した。 ・スポーツの分野で活躍する子どもたちを表彰し、支援した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等の	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	8,947	9,684	当初予算(千円)	9,552			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他			その他				
	一般財源	8,947	9,684	一般財源	9,552			
事業運営	人員配置数	1.3	1.3	人員配置数	0.9			
	人件費(千円)	10,010	9,899	人件費(千円)	7,106			
	総事業費(千円)	18,957	19,583	総事業費(千円)	16,658			
	市民1人当りの経費(円)	107	111	市民1人当りの経費(円)	94			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である 協働実施済の場合のパートナー 体育協会、レクリエーション協会

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	事業へ統合
	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由			

総評(評価に対する考え方、根拠等)	平成26年3月に改定したスポーツ振興基本計画の目標であるスポーツ実施率60%を目指し施策を遂行していくとともに、本市のスポーツ・レクリエーション活動の普及・振興のため、スポーツ関係団体との連携を強化する。また、スポーツ推進委員が地域のスポーツ振興に重要な役割を果たすことから、今後も各委員の自主性を高め、技術の研さんや知識の取得を促し、更なる質の向上に向けた取り組みを図っていく。
-------------------	--

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・体育協会・レクリエーション協会との役割分担・連携や支援のあり方の見直し。 ・子供たちが意欲的にスポーツに取り組める環境の整備。 ・スポーツ推進委員の更なる質の向上。 	
課題解決のために行った平成28年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体への指導・援助の充実や、連携の強化を図った。 ・スポーツの分野で活躍する子どもたちを表彰し、より強い意欲を持ってスポーツに取り組めるよう支援した。 ・地区スポーツ振興会協議会やスポーツ推進委員連絡協議会において研修を実施した。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地区スポーツ振興会及びスポーツ推進委員は地域のスポーツ振興に重要な役割を果たすことから、研修等の開催により地区スポーツ振興会の活性化やスポーツ推進委員の更なる質の向上に向けた取り組みが必要。 ・子どもの表彰制度については、更に意欲的に取り組むきっかけとするため表彰対象者を功績を挙げた学年のうちに表彰できるよう制度の改善が必要。 ・スポーツに精通し、意欲を持ったスポーツ推進委員の確保。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	体育協会の加盟団体数								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	秦野市	小田原市				
他市実績	31団体	32団体	31団体	25団体	21団体				

比較事項	レクリエーション協会の加盟団体数								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	秦野市	小田原市				
他市実績	9団体	6団体	11団体	3団体	10団体				

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	市民にスポーツの場(大会や初心者教室の開催)を提供し、スポーツ振興施策の推進役を担う体育協会、レクリエーション協会の加盟団体数は、種目の数を示しており、近隣市や人口規模の近い市と比べてほぼ同数であるが他市にあって本市にない種目もある。本市のスポーツ活動をより活性化させるため、新たな種目別競技団体の設立の動きがあった場合は、積極的に助言を行っていく。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	体育協会、レクリエーション協会加盟人数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
スポーツ・レクリエーションの充実度を把握するため	目標値	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000			
	実績値	11,987	11,970	13,074						
	達成率	85.6%	85.5%	93.4%						

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	体育協会、レクリエーション協会の加盟人数の拡大を図るため、初心者教室やホームページ等による種目の紹介を充実させる。
-----------------------	---